

次に過日決行された解雇のことですが之は會社からも通知の通り會社の營業が非常に不振に陥り前期の如きは遂に無配當に終りましたが會社は出来るだけ失業者を出さぬ様苦心に苦心を重ねて無理な仕入仕事などもやつて居つたのであります然し去月二十七日以來の怠業に出會ひましては一層損失を多くするこゝになりますので其儘事業を繼續すべき見込も絶え已むを得ず事業を縮少するこゝに決定されたのであります即ち會社が失業者を出すまいと努めて居つた折角の苦心も空しく水泡に歸しましたので最早整理を斷行するの已むを得ざる破目となり遂に多數の解雇者を出すこゝになつたのは誠に遺憾に思ひます諸君は今解雇された人達と一所に行動して居る様に思ひますが若し諸君が其人達に同情の積りで一所になつて居るのでしたら之は非常な間違つたことと思ひます過日解雇された人達は會社の事業縮少の爲めでありますから當人には誠に氣の毒でありますが假りに諸君から此人達の復職などを願出た所で迎も出来る相談ではないのであります斯様な現状にある會社に望をかけて永く固執して居る様なことでしたら之は諸君の同情が却て其人達に仇となるばかりでなく諸君も迷惑を蒙り結局共倒れとなると思ひますそれ故解雇された人達を救ひ自分達も立つて行かうとするならば一刻も早く解雇された人には他に就職口を求むる様勧告すると共に諸君は速に工場に歸り誠意を以て仕事することでありませう

私は會社の事情を十分承知して居り又諸君の爲めを思ふの餘り此通告を發して諸君の反省を促がす次第であります

大正十二年七月十九日

株式會社新潟鐵工所
東京工場主任